

各団体に配布するIDの運用原則

1. 配布対象および枚数

IDの種類	配布対象
選手ID(記名式)	大会にエントリーした出場選手全員(漕手および舵手。補漕・補舵は含まない)とする。
チーム関係者ID(記名式)	各団体の規模にあわせ、下表※の通り、出場選手人数に応じて配布枚数を定める。
臨時通行ID(無記名)	各団体一律 3枚 ずつとする。

※各チームに配布するチーム関係者IDの上限枚数

出場選手数	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~30名	31名~40名	41名以上
チーム関係者ID配布上限数	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚	9枚

- 上記のチーム関係者の登録方法は、追って日本ボート協会ホームページにて公開する。
- 大会前々日(10月20日火曜日 **PM1~5**)、前日(10月21日水曜日 **AM7~PM5**)、**公園管理事務所前駐車場「大会受付」テントにて**、健康調査質問票との交換により、チームごとにID一式を配布する。
- 棄権等により出場選手数が変動した場合には、変動後の出場選手数に応じたチーム関係者数に合わせる。チーム関係者数が減少する場合には、その分のIDを速やかに本部に返却すること
- チーム関係者も含め、本人以外のIDの利用が発覚した場合には、即座に当該IDを剥奪する。
- チーム関係者とは、監督・コーチ・マネージャー等及び補漕のことを指す。補漕として大会に帯同する選手は、チーム関係者として登録することにより、IDの配布を受けることができる。
- 別途大会運営補助員登録をした者には、上表とは別に大会運営関係者用IDを与える。

2. ID使用の原則ルール

IDの種類	原則ルール
選手ID(記名式)	アスリートエリアへの立入に使用。常にIDを表示・携帯し、各ゲートでは提示すること。IDは、記名された本人のみが使用できる。
チーム関係者ID(記名式)	
臨時通行ID(無記名)	0m地点ピットに行く際、大会運営エリア・観覧禁止エリアを通行するために使用。本人のチーム関係者IDと臨時通行IDの2枚を表示・携帯することで、ゲートを通過できる。

3. ID確認のタイミング

ID確認を受けるタイミング	確認するID	備考
ゲート①/ゲート②/ ゲート④	選手/チーム関係者IDのみ	体温チェックあり
ゲート③/ゲート⑤/ゲート⑥/ゲート⑦	選手/チーム関係者ID+臨時通行ID	2枚を提示する
大会運営エリア	選手/チーム関係者IDのみ	
観戦禁止エリア・大会運営エリア	選手/チーム関係者ID+臨時通行ID	2枚を携帯する

4. 棄権・クルー変更等の運用

確定のタイミング	棄権	クルー変更
大会前日までに確定	受付時にIDを配布しない	受付時に正しいIDに変更(変更前のIDは配布しない)
大会中に確定	棄権の連絡後、直ちに棄権するクルー全員のIDを本部に返却する	クルー変更の連絡後、直ちに変更前のIDを本部で変更後のIDに交換する

5. 敗退クルー等の運用

レースに敗退する等、これ以上レースが無くなったクルー全員の選手IDは、レースが無くなったことが確定したときから90分以内に、本部に返却する。チーム関係者IDも、出場選手数に合わせ、返却すること。

また、団体のすべてのクルーが敗退した場合、当該団体のすべての選手/チーム関係者IDおよび臨時通行IDを、レースが無くなったことが確定した日の17:00までに、大会本部に返却する。

※敗退後も制限エリア内に立ち入る必要のある団体は、大会本部に申し出ることにより、別途判断する。

6. IDの不正利用への対応

IDを本人以外が利用する、所定の目的外での臨時通行IDを利用する等、IDの不正利用が発覚した場合には、当該IDを即座に剥奪する。